

宿泊研修を終えて

—修学旅行、根ノ上研修編—

校長 土屋 美之

5月22日、23日に6年生が修学旅行で奈良京都に。6月19日、20日に5年生が根の上研修に行ってきました。それぞれの学年で宿泊研修に向けた学年スローガンを立て、当日に向けて活動してきました。5年生にとっては学年全員でお泊りをする初めての機会。6年生は岐阜県を離れての研修。どちらも子どもたちにとっては、とても楽しみなものです。

まずは6年生。学年スローガン『みんなでつくろう!3つのいっぱい!~笑顔いっぱい、歴史いっぱい、思い出いっぱい~』

やはり、東大寺の大仏を間近で見るとその迫りに圧倒されっぱなし。裏側に入ると、こんなに厚いんだと大仏の大きさに感心するばかり。また、今年は柱の穴に挑戦。ほとんどの子どもたちが穴をくぐりました。去年はコロナ禍の関係で立ち入り禁止でしたので、今年はラッキーでした。一方、京都は昨年よりも人が多かったです。タクシー研修では最後の1台だけ駐車場手前でバスの大渋滞にはまってしまいました。清水寺の見学も人波に飲まれて・・という感じでしたが、スローガンの3つのいっぱいを見事達成することができました。

次に5年生。学年スローガン『笑顔あふれるきずなの宿泊研修!』前日の大雨がどれだけ活動に影響するのだろうと心配していましたが、2日間とも見事に「晴れ」。1日目のオリエンテーリングは多少地面がぬかるんでいたものの、何とかできました。また、昨年できなかったキャンプファイヤーは天候に恵まれ、最後までできることができました。「誓いの火」をもらい、その後のレクは学年全員で大いに盛り上がることができました。2日目のカレー作りは仲間と協力しながらの作業。みんなで作るカレーは味も格別。日頃は飯盒でご飯を炊くことはありませんが、上手に炊くこともできました。カレーづくりをスムーズに終え、時間に余裕ができたため、行程にはない「しおりづくり」も行うことができました。これもみんながてきぱきと活動したおかげですね。5年生も笑顔がたくさんあふれた研修となりました。

どちらの研修も事前に「キャンペーン」を行い、日々の生活をよりよくしようと、そしてその成果を研修中に発揮しようと頑張ってきました。どちらの学年もキャンペーンも行ったことで随分と成長してきました。高学年として、それぞれ力を付けた宿泊研修。ただ、研修で終わりというわけではありません。ぜひ、ここで付けた力を継続してこれからも発揮していくことを期待しています。頑張れ、土岐っ子!

